

関東農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の選定結果について

農林水産省及び内閣官房は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の地域資源を引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第12回選定）として、令和7年11月18日（火曜日）に30地区を選定しました。

関東農政局においても、応募のあった事例の中には、これら以外にも優れた取組があることから、管内独自の特長ある優れた取組について関東農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として選定し、広く発信することにより、他地域への横展開を図ることとしています。

応募の対象となる取組は、産業・地域の活力創造につながる、次の①から③のいずれかに該当するものです。

- ① 美しく伝統ある農山漁村を次世代へ継承する取組
- ② 幅広い分野・地域との連携により農林水産業・農山漁村を再生する取組
- ③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業を実現する取組

埼玉県においては、飯能市の団体「くるくるはんのう」が選定されました

埼玉県では、団体部門のうちビジネス・イノベーション部門（所得向上や雇用を生み出す取組等を行っている団体）で飯能市の「くるくるはんのう」が選定されました。

「くるくるはんのう」は、飯能市内の農産物や生産者の魅力を発信し、クリエイターとのご縁を結ぶ「生産者×クリエイターマッチングツアー」の開催により、生産者の販路が拡大。Instagram発信により、現在フォロワー数が1,300名以上おり、他業種との交流が少なかったことが課題であった生産者には、販路開拓や情報交換による新たなビジネスチャンスを生んでいる活動が評価されました。

詳しい内容は、以下のリンクをご覧ください。

URL: <https://www.maff.go.jp/kanto/press/nouson/toshinouson/251118.html>



飯能の若手農家とクリエイターの交流会

「ノウフク・アワード2025」選定結果を公表しました！

農福連携等応援コンソーシアム（事務局：農林水産省）では、農福連携に取り組んでいる優れた事例を「ノウフク・アワード」として表彰し、全国への普及を推進しています。

令和7年11月10日（月曜日）に開催された「ノウフク・アワード2025」審査委員会において、受賞団体（21団体）が決定しました。

埼玉県では、**埼玉県立川越総合高等学校**が、特別支援学校と連携して地元狭山茶の栽培管理等や、地鶏の飼育から商品開発・販売までの6次産業化に取り組むことで双方の生徒の進路選択の幅を広げ、将来のキャリアを考えるきっかけ作りに貢献していることが評価され、優秀賞に選定されました。

詳しい内容は、以下のリンクをご覧ください。

URL: <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/251125.html>

彩の国 農業人

～定年後に就農し、SDGs に貢献する
ミニトマト栽培に挑戦～
葉山 陽一さん

埼玉県上尾市でミニトマトを栽培する、就農4年目の(株)ソラリコの代表取締役、葉山陽一さんをご紹介します。

葉山さんは、以前、電機メーカー（受配電・制御機器メーカー）に勤務していましたが、長年抱いていた「起業したい」という夢があり、農業は人の食を支え、SDGsにも貢献できる分野として強く惹かれていました。人が生きていくために欠かせない農業で、おいしいものを作り、それを食べて喜んでもらえることに大きな魅力を感じ、農業の道を選択しようと考えていました。

2020年4月からは、電機メーカーに勤務しながら、週末に開講されるアグリイノベーション大学校埼玉農場で農業技術を習得し、農業への理解を深めました。その間に、さまざまな情報をリサーチし、ミニトマトのハウス栽培を決断しました。同年9月に、長年勤めた電機メーカーを定年退職し、2021年3月から約半年間、埼玉県内の農場で現場経験を積んだ後、同年10月に株式会社ソラリコを設立して、翌11月には認定新規就農者となりました。農地探しでは近隣の自治体に相談しましたが、最終的に上尾市から現在の理想的な農地を紹介され、青年等就農資金を活用してハウスの整備を行い、2022年4月に10aのハウスでミニトマトの生産・販売事業を開始しました。

栽培方法は、有機質培土を詰めたバッグに苗を定植する環境にやさしいバッグ栽培を行っています。有機肥料を使用し、農薬を大幅に制限しています。また、ICTを活用した高度な環境制御技術を導入し、収穫する際には樹上で十分に赤熟するまで待つことで、糖度8を確保した独自ブランド「アーマイン®」を展開しています。現在の主力品種は「アルル」で、他2品種も試験栽培中です。販売先は食品スーパーや通販サイトなどです。



独自ブランド「アーマイン」

なお、アーマイン®は、一般社団法人日本野菜ソムリエ協会主催の野菜ソムリエサミットにおいて、2023年11月の青果物部門で金賞を受賞しました。

今後は、高付加価値化とブランド力の向上により、市場の影響を受けにくいミニトマトブランドの構築と規模拡大を目指していきたいと語ってくれました。



葉山さん（前列中央）とスタッフの皆さん

編集：関東農政局 埼玉県拠点

〒330-9722 さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館

TEL 048-740-5835

<関東農政局HP> <http://www.maff.go.jp/kanto/>